

第三十一回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 小学生の部

No.	賞名	作	品	学校名	学年	氏名
1	秦野市長賞	白い雪水が凍った白いつぶ私は雪の結晶だった		南	6	加藤 美咲
2	秦野市教育委員会教育長賞	おやすみで今日の自分とさようならまた会うときは明日の自分		西	5	柳生 真由美
3	秦野中ロータリークラブ会長賞	病院で友達に会いびつくりだ二人そろつてくすくす笑う		西	5	関口 花菜
4	秦野市立図書館長賞	ハンドベル音が重なるハーモニー紅葉と一緒に音も色づく		本町	6	小室 良磨
5	寺尾登志子選者賞	ヤドカリや重い荷物を背負っている重すぎてもう夕日がでてる		東	4	町田 蒼空
6	佳作	ラムネびんすかしてのぞく向こう側広がる青空泡と飲み込む		南	5	中西 薫怜
7	佳作	伊豆に行きばあばと会った海に行きひとりで遊んだいつもひとり		南	5	小原 愛音
8	佳作	すきとおるかがやく川の四万十は自然の中のガラスのようだ		南	5	佐藤 凜
9	佳作	ヒグラシは夕方金にかがやいて森でカナカナきれいにいた		渋沢	4	米山 太一
10	佳作	うろの中やみにうごめくオオクワは月に照らされてかり輝く		南	5	須藤 慧
11	佳作	終わりなき尾瀬の草原細い道朝もやの中響く足音		東	6	小川 真奈実
12	佳作	ぼくたちが珍しがられた旅行先日本人居ぬ京都の宿だ		東	6	野間 耕心
13	佳作	授業中扇風機の風気持ち良い目をそらすたびページ変わってる		鶴巻	5	山城 琉海
14	佳作	マウンドで一番背負い勝利へと導く自分の最後の一球		鶴巻	6	高田 朱
15	佳作	大海のなみをあやつるいたのうえエンジンのない船をうごかす		東	5	久保田 瑛
16	佳作	うめの花小さなつぼみひらくときそれはわたしの生まれた二月		東	4	野間 尚子
17	佳作	暑い砂サンダル探し走り出す友の背中に夏が始まる		鶴巻	6	古正 大貴
18	佳作	空ぶりで父に怒られすぶりする今日も暑いが夕立くるか		南	6	森山 晴智
19	佳作	暑くなりスイカがさらにあまくなる夏の暑さもスイカのあまさ		鶴巻	6	今井 智紀
20	佳作	夏の川中へ飛び込み爽快だ次はもぐつて鮎と泳ごう		上	6	佐藤 彩人
21	佳作	ぼくの夏田畑でバツタつかまえてせまい虫かご夏の思い出		北	5	網屋 瑠偉
22	佳作	いちぢくがむらさきになり秋感じ色々なこと始める時分		東	6	青木 快晴
23	佳作	おじいちゃんキュウリの馬もいいけれどポルシェのミニカーいいんじゃない		鶴巻	6	比留間 れい奈
24	佳作	ジャイアンツ小林せいじはキャッチャーだ日本代表のスタメンマスク		南	6	柿田 諒
25	佳作	おとうさん たぬきいぬねこ かぶとむし おたまじゃくしに てるてるぼうず		東	5	ブ라운チーワン